（1）　第123号　（昭和28年9月10日 第三種郵便物認可）　友愛　昭和38年6月10日　（毎月1回10発行）

全国に及ぶ七事業

指導者講習会・学生会議・組織会議・新生活研修会
青少年野外のつどい・移動映画班・歯科診療班

夏期事業の準備進む

全会員の協力を期待する

今年度の本会事業の主体をなす夏期事業の開催要領がきまり、本部事務局では本格的な準備に入った。従来と比較して追加された事業は、第一回友愛全国学生会議の開催であるが、これは昨年十月末に北海道学生部、東北学生部、四国学生部、九州学生部からも参加者を集め、昨年の関東・関西・中国三学生部会議からさらに数歩前進した実のある会議になる模様である。これまで、青年団体の組織ごとのような学生だけの会議をもつに至った例はほとんどなく、今回の友愛全国学生会議がその先鞭をつけることになる。

それのみならず、今後の学生運動の在り方、方向等に相当の影響をもたらすであろうことが期待される。

また軽井沢で開かれる中央指導者講習会も、昨年までの総花的な講義内容と異なり、問題を友愛運動、青年運動の三点に焦点をしぼり、徹底的に指導者の養成を図ることを目途としている。従って各学部の執行部役員は出来るだけ参加されるよう努力してほしいものである。その他の事業についても、十周年を記念する意味において二段と内容を充実させているので、全員諸兄姉の協力と努力を期待したいものである。

第十回中央指導者講習会

期間　七月五日～七日二泊三日
閉会後バス旅行、参加は任意
場所　軽井沢友愛山荘（長野県北佐久郡軽井沢町一六〇八）
目的　全国中堅幹部の養成を図ることを目的とする。
講義　カレルギーの思想と著書
組織のひろめ方、青少年団体の概況と提携、集団ゲームの実際と指導、共産圏における教育制度
講師　深津栄一、奥田吉郎、北川登、尾形智規、早川忠光、飯島清、他
経費　旅賃・自己負担、宿泊等

第六回新生活運動研修会

期間　八月二十九日～三十一日二泊三日
場所　徳島市津乃峰の家（徳島市大神町）
目的　オリンピックを控え、国際意識の涵養と国土美化運動の推進をはかることに資与する。
講義　外国における道徳教育
国土美化の目的と実際、友愛と新生活運動、その他。

第六回働らく青少年野外の集い

期間　七月十三日～十四日一泊二日
場所　軽井沢友愛山荘（長野県北佐久郡軽井沢町一六〇八）
内容　戦災孤児の施設出身者で中小企業に従事している青六十名をバスで軽井沢に招待する。

第十一回移動映画班巡回

期間　七月三十日～八月二十八日　三十日間
場所　東北四県（青森、秋田、岩手、山形）

友愛歯科診療班巡回

期間　十一月に変更
場所　沖縄に派遣

第六回新生活運動研修会

期間　八月二十九日～三十一日二泊三日
場所　徳島市津乃峰の家（徳島市大神町）
第二回友愛全国学生会議
期間　七月二十六日～二十九日三泊四日。
場所　一日目、雑蔵寺。二日目加賀公民館、三日目、野波公民館
内容　詳細内容は学生対策部から決定事項は次の通りである。

一、組織指導者講習会
期日　七月十九日（金）、二十日（土）、二十一日（日）、二泊三日
場所　福島県磐梯友愛山荘
参加者　全国組織委員会委員
内容　①全国組織委員長が全国組織の現状と八月以降の組織活動の具体的方針を説明、その検討
②各組織委員が担当ブロックの組織の現状及び今後の組織活動の進め方についての報告
その検討
③組織の専門的な講義
④その他

二、組織普及工作
関東地方巡回（千葉県、群馬県栃木県、茨城県、埼玉県）を五月下旬より、六月下旬までの一ヵ月間、尾形組織委員長と天久保関東ブロック担当組織委員が中心となり進める。

三、日本縦断組織リレー
本年八月～九月に実施するが具体案は事務局で立案し、各県連支部と連絡の後発表する。

四、友愛学生会議
期日　七月中旬
場所　島根県八束郡島根村、野沢公民館
参加者　全国より五十名の学生会員が出席。
この学生会議と全国組織委員会より代表二名派遣する。

五、東京都の組織対策について
東京都組織の現状の適確な把握と活発な活動を展開するために、支部長、地区代表の合同会議を開催する。

六、県連結成の準備について
本年は八県以上県連結成を予定しているが、まず最初に神奈川県連の結成を実現する。

七、友愛情報の発刊
六月より隔月一回十五日に発刊する。

組織方針を具体化へ

在京組織委員会できめる

第一回在京組織委員会々議は五月二十三日午後四時より本部事務局で開かれ、尾形智規全国組織委員長、佐々木惠美子婦人対策部長清水重夫学生対策部長、大久保照夫関東ブロック担当組織委員、高塚清六東京都担当組織委員が出席した。

会議は尾形全国組織委員長の司会で始められ、第十回全国大会で決定された昭和三十八年度組織活動方針のなかで上半期に実施が決定されている諸活動の具体的な取扱いについて検討をおこなった。

国際委常任理事会

今年度の方針きめる

国際委員会（昭和三十八年度第一回常任理事会は五月二十四日午後一時半より赤坂"たまり"で開かれ本会より尾形智規常任幹事が出席した。

会議は査勝国際委員会事務局次長の会務報告、昭和三十七年度決算報告を承認の後、昭和三十八年度活動方針、事業計画、昭和三十八年度予算等を審議決定した。

本年度の特色は、海外派遣並びに外国青少年の積極的な受け入れを実施する。従来の機関紙「こだち」を改編し充実する等の活発な方針を決定した。なお六月中旬に理事会を開催する。

初の執行部会議開く

本年度初の執行部会議は六月四日午後六時より本部事務局会議室で開催された。この日、島根県から招けつけた住吉地対部長はじめ各部長および総務宮崎、情宣入江文化中、地対高山、学対斎藤、経理鳥越の各次長が出席、奥田幹事長、北川事務局長が列席して午後九時半まで夏期事業の具体案などを熟心に討議した。

昭和三十八年度政府青年海外派遣代表決る

本会からは四名が選任

第五回政府青年海外派遣の代表は全国各都道府県および中央推せんの両者とも二の線全員が決定し六月八日から国立中央青年の家（御殿場）で合宿に入った。

団員は地方推薦八名、中央推薦十名の計九名、それに正副団長十名総計二十名（内女子二五名）である。

このうち本会からは富田晴君（本部常任幹事）が中央推薦で、三谷喜好（愛媛県連会長）、井上延昭（全和島支部長）、酒井量三（神奈川・藤沢支部）の三名が地方推薦で派遣が決定した。

富田晴君は東南アジア第二班＝九月十二日出発（ビルマ・マラヤ・タイなど）十月十三日帰国。

三谷喜好君は九月十六日出発の東南アジア第一班（インド・パキスタン・セイロン）帰国は十月十三日。

酒井量三君は北米班（アメリカ・カナダ）出発は九月二日、帰国は十月三十一日。

井上延昭君は中南米班＝八月十七日出発（ブラジル・アルゼンチン・チリなど）帰国は十一月二十日。

なお、六月十日午後三時から総理大臣官邸で田中首相列席のもとに結団式が行なわれ、翌十八日には東宮御所に集まり天皇陛下を訪問挨拶言上の後、本会代表は本部主催の合同歓送会にのぞむ。

大洞君フランスへ

一九六三年度日仏青少年交換事業にもとづき、フランス青少年スポーツ庁の招待により日本側から二十二名の青少年代表を派遣することになった。

本会岐阜県連副委員長の大洞喜明君は、岐阜市及び本会からの推薦を受け代表の一員に決定した。

日仏青少年交換は昨年度より実施され、昨年はフランス側が来日。

友愛ペナント・ワッペン

ペナント＝フェルト生地、青赤白の三色で記念文字を刺繍した三角形のもの　¥600

ワッペン＝紺地に赤で"YUAI"、赤地に紺ぼたん鳩をあしらい黒のフチどりでひきしめた清新らしいワッペン　¥250

――部屋にペナント
胸にザックにワッペンを――

本会創立十周年記念品販売案内

友愛十周年祭「記念アルバム」

友愛十周年を記念してだされた「鳩山一郎遺品展・友愛十年写真展」＝高島屋デパート「第十回全国大会」「創立十周年記念パーティー」「友愛全国文化祭」の四大行事の姿を網羅する永久に記念すべき豪華なアルバム――各枚特殊ノリで貼りつけ　頒布価格　二、五〇〇円

友愛山荘「シール」

軽井沢友愛山荘、尾道友愛山荘、磐梯友愛山荘の近影を総天然色カラーでシール化し、友愛のマークを挿した美麗なもの手紙の封、ノート、手帳に好適　頒布価格　一組6枚綴　三〇円　申込10組単位（本会組織に限り一組十五円）

鳩山一郎先生「色紙」

「友愛」＝逝去直前の筆
「明鏡止水」＝昭和七年文部大臣辞任後その心境を書かれた二枚一組　特製カバー付　各特製スキ紙　金ブチ飾り額字　自民党副総裁大野伴睦先生が特に書かれたもの
頒布価格　一組　一、〇〇〇円送料本部負担
（本会組織に限り一組七〇〇円）

友愛会員証

友愛創立十周年を記念して、全国会員の多年の要望にこたえるため各種の記念章を製作しました。この機会に、ぜひ一種類は購入し各自の家宝を「友愛」で飾って下さい。

名誉会長　クーデンホフ・カレルギー

顧問　石橋正二郎、鹿島守之助、木村毅、鳥居althy郎、高碕達之助、蔡原吉太郎、船田享二、細川隆元、我妻栄、阿部真之助

相談役　大山良雄、押川如水、加藤精一、近藤春雄

酒井勝郎、田中義弥、西木まさ子、柳沢凌

常任参与　飯島清、五十嵐晋一、原嶋亮二、深津栄一

参与　小島孝男、鵜生雄美子、渡昇

会長　旭山薫

副会長　川崎秀二、富川三郎

幹事長　奥田吉郎

常任幹事　大西巌治、尾形智規、奥田吉郎、川手正一郎

北川登、佐々木惠美子、清水幸重、高橋敬、高野政利、鶴巻克雄、中川治男、早川忠光、早川広中、宮田晴、柳沢定勝、山崎勝巳、矢野秀敏、吉川昭市

幹事＝地方選出＝青沼猛志郎、秋山清、井上都司子（大阪）、多田照夫（山口）、松井和麿（広島）、表西五六（徳島）、三谷喜好（愛媛）、木武幸（福岡）、吉留仁義（長崎）、岩崎光（鹿児島）

学生部選出＝瀬尾英幸（白犬）、宮崎久男（樹犬）、高山光伯（犬六）、三ヶ本敬文（犬七）、樋口直樹（鳥取犬）、三枝啓己（山口犬）

本部選出＝八木宏之、高山力、ズエ東京支）、大久保照夫（神奈川）、鵜巻伸（大阪）、梶本英夫（岐阜）、十川昭五（香川）、野元晴（学生部）

顧問　石橋正二郎、鹿島守之助、木村毅、鳥居althy郎、高碕達之助、蔡原吉太郎、船田享二、細川隆元、我妻栄、阿部真之助

相談役　大山良雄、押川如水、加藤精一、近藤春雄

酒井勝郎、田中義弥、西木まさ子、柳沢凌

常任参与　飯島清、五十嵐晋一、原嶋亮二、深津栄一

参与　小島孝男、鵜生雄美子、渡昇

会長　旭山薫

副会長　川崎秀二、富川三郎

幹事長　奥田吉郎

常任幹事　大西巌治、尾形智規、奥田吉郎、川手正一郎

北川登、佐々木惠美子、清水幸重、高橋敬、高野政利、鶴巻克雄、中川治男、早川忠光、早川広中、宮田晴、柳沢定勝、山崎勝巳、矢野秀敏、吉川昭市

幹事＝地方選出＝青沼猛志郎、秋山清、井上都司子（大阪）、多田照夫（山口）、松井和麿（広島）、表西五六（徳島）、三谷喜好（愛媛）、木武幸（福岡）、吉留仁義（長崎）、岩崎光（鹿児島）

学生部選出＝瀬尾英幸（白犬）、宮崎久男（樹犬）、高山光伯（犬六）、三ヶ本敬文（犬七）、樋口直樹（鳥取犬）、三枝啓己（山口犬）

本部選出＝八木宏之、高山力、ズエ東京支）、大久保照夫（神奈川）、鵜巻伸（大阪）、梶本英夫（岐阜）、十川昭五（香川）、野元晴（学生部）

顧問　石橋正二郎、鹿島守之助、木村毅、鳥居althy郎、高碕達之助、蔡原吉太郎、船田享二、細川隆元、我妻栄、阿部真之助

相談役　大山良雄、押川如水、加藤精一、近藤春雄

酒井勝郎、田中義弥、西木まさ子、柳沢凌

常任参与　飯島清、五十嵐晋一、原嶋亮二、深津栄一

参与　小島孝男、鵜生雄美子、渡昇

会長　旭山薫

副会長　川崎秀二、富川三郎

幹事長　奥田吉郎

常任幹事　大西巌治、尾形智規、奥田吉郎、川手正一郎

北川登、佐々木惠美子、清水幸重、高橋敬、高野政利、鶴巻克雄、中川治男、早川忠光、早川広中、宮田晴、柳沢定勝、山崎勝巳、矢野秀敏、吉川昭市

幹事＝地方選出＝青沼猛志郎、秋山清、井上都司子（大阪）、多田照夫（山口）、松井和麿（広島）、表西五六（徳島）、三谷喜好（愛媛）、木武幸（福岡）、吉留仁義（長崎）、岩崎光（鹿児島）

学生部選出＝瀬尾英幸（白犬）、宮崎久男（樹犬）、高山光伯（犬六）、三ヶ本敬文（犬七）、樋口直樹（鳥取犬）、三枝啓己（山口犬）

本部選出＝八木宏之、高山力、ズエ東京支）、大久保照夫（神奈川）、鵜巻伸（大阪）、梶本英夫（岐阜）、十川昭五（香川）、野元晴（学生部）

昭和三十八年度役員名簿

名誉会長　クーデンホフ・カレルギー

顧問　石橋正二郎、鹿島守之助、木村毅、鳥居althy郎、高碕達之助、蔡原吉太郎、船田享二、細川隆元、我妻栄、阿部真之助

相談役　大山良雄、押川如水、加藤精一、近藤春雄

酒井勝郎、田中義弥、西木まさ子、柳沢凌

常任参与　飯島清、五十嵐晋一、原嶋亮二、深津栄一

参与　小島孝男、鵜生雄美子、渡昇

会長　旭山薫

副会長　川崎秀二、富川三郎

幹事長　奥田吉郎

常任幹事　大西巌治、尾形智規、奥田吉郎、川手正一郎

北川登、佐々木惠美子、清水幸重、高橋敬、高野政利、鶴巻克雄、中川治男、早川忠光、早川広中、宮田晴、柳沢定勝、山崎勝巳、矢野秀敏、吉川昭市

幹事＝地方選出＝青沼猛志郎、秋山清、井上都司子（大阪）、多田照夫（山口）、松井和麿（広島）、表西五六（徳島）、三谷喜好（愛媛）、木武幸（福岡）、吉留仁義（長崎）、岩崎光（鹿児島）

学生部選出＝瀬尾英幸（白犬）、宮崎久男（樹犬）、高山光伯（犬六）、三ヶ本敬文（犬七）、樋口直樹（鳥取犬）、三枝啓己（山口犬）

本部選出＝八木宏之、高山力、ズエ東京支）、大久保照夫（神奈川）、鵜巻伸（大阪）、梶本英夫（岐阜）、十川昭五（香川）、野元晴（学生部）

顧問　石橋正二郎、鹿島守之助、木村毅、鳥居althy郎、高碕達之助、蔡原吉太郎、船田享二、細川隆元、我妻栄、阿部真之助

相談役　大山良雄、押川如水、加藤精一、近藤春雄

酒井勝郎、田中義弥、西木まさ子、柳沢凌

常任参与　飯島清、五十嵐晋一、原嶋亮二、深津栄一

参与　小島孝男、鵜生雄美子、渡昇

会長　旭山薫

副会長　川崎秀二、富川三郎

幹事長　奥田吉郎

常任幹事　大西巌治、尾形智規、奥田吉郎、川手正一郎

北川登、佐々木惠美子、清水幸重、高橋敬、高野政利、鶴巻克雄、中川治男、早川忠光、早川広中、宮田晴、柳沢定勝、山崎勝巳、矢野秀敏、吉川昭市

幹事＝地方選出＝青沼猛志郎、秋山清、井上都司子（大阪）、多田照夫（山口）、松井和麿（広島）、表西五六（徳島）、三谷喜好（愛媛）、木武幸（福岡）、吉留仁義（長崎）、岩崎光（鹿児島）

学生部選出＝瀬尾英幸（白犬）、宮崎久男（樹犬）、高山光伯（犬六）、三ヶ本敬文（犬七）、樋口直樹（鳥取犬）、三枝啓己（山口犬）

本部選出＝八木宏之、高山力、ズエ東京支）、大久保照夫（神奈川）、鵜巻伸（大阪）、梶本英夫（岐阜）、十川昭五（香川）、野元晴（学生部）

顧問　石橋正二郎、鹿島守之助、木村毅、鳥居althy郎、高碕達之助、蔡原吉太郎、船田享二、細川隆元、我妻栄、阿部真之助

相談役　大山良雄、押川如水、加藤精一、近藤春雄

酒井勝郎、田中義弥、西木まさ子、柳沢凌

常任参与　飯島清、五十嵐晋一、原嶋亮二、深津栄一

参与　小島孝男、鵜生雄美子、渡昇

会長　旭山薫

副会長　川崎秀二、富川三郎

幹事長　奥田吉郎

常任幹事　大西巌治、尾形智規、奥田吉郎、川手正一郎

北川登、佐々木惠美子、清水幸重、高橋敬、高野政利、鶴巻克雄、中川治男、早川忠光、早川広中、宮田晴、柳沢定勝、山崎勝巳、矢野秀敏、吉川昭市

幹事＝地方選出＝青沼猛志郎、秋山清、井上都司子（大阪）、多田照夫（山口）、松井和麿（広島）、表西五六（徳島）、三谷喜好（愛媛）、木武幸（福岡）、吉留仁義（長崎）、岩崎光（鹿児島）

学生部選出＝瀬尾英幸（白犬）、宮崎久男（樹犬）、高山光伯（犬六）、三ヶ本敬文（犬七）、樋口直樹（鳥取犬）、三枝啓己（山口犬）

本部選出＝八木宏之、高山力、ズエ東京支）、大久保照夫（神奈川）、鵜巻伸（大阪）、梶本英夫（岐阜）、十川昭五（香川）、野元晴（学生部）

＝特別委員会＝

政策委員長　原嶋亮二
全国組織委員長　尾形智規
統制委員長　柳沢定勝
国際問題委員長　鶴巻克雄
中小企業経済委員長　五十嵐晋吾
農村対策委員長　北川登
広報委員長　早川広中
国民運動推進委員長　高橋敬
財政委員長　川手正一郎
世界青少年キャンプ対策委員長　高橋敬
社会保障問題委員長　天西巌治

＝外局＝

中央教育指導部長　深津栄一
次長　飯島清
編集局長　宮田晴
次長　入江和朗
於保誠教

言直

◆夏期事業の実施要項が発表されいよいよ全国の事業のヤマ場を迎えることになったわけである。今年の夏は本会の十周年を祝って、例年に比較して一段と多忙な時期になりそうである。なせならば、例年でさえ本会の事業だけでも大忙しなのに、今年はそれに加えて、核兵器禁止平和建設国民会議の世界大会、世界連邦世界大会というように、本会加盟の団体のうち二つの世界会議が日本で開催されるからである。

◆本部事務局には会員諸兄姉の大多数がよく御存知のように日間程表が二ヵ月分掲示されているが、これに連日満員御礼の赤字が書き込まれていることは当然として、別に掲示されている。夏期に実施される特別事業の日程表もほとんど毎日のように書き込まれる状態である。事務局のテンヤワンヤ振りもうかがい知れようというものである。

◆核禁会議の世界大会にせよ、世界連邦の世界大会にせよ、共に世界の平和へ直結する上にひじょうに重要な役割を果たす会議である。この機会に我々は出来る限り国際会議に参加出席するようにしたいものである。国際会議に出席出来るチャンスはそう度々あるものではない。国際会議に出席することによって個人の国際意識も必然的に高くなることを思うとき会員諸兄姉の会議への出席を繰り返し要望したくなるのである。

◆もっともただでさえ多忙のうちに見過ごしがちになる夏期事業への参加と協力を忘れたのでは何の意義もなくなってしまう。どちらが優先されるかは難しい問題であるが、少くとも直言の意見は"自分のことを忘れてなんぞ人事ならんや"である。友愛精神の求めるものが世界平和にあることは当然である以上、その基本にあるのは個人であり、すなわち物事の価値を判断する場合あくまでも小さい単位から出発するものである。

◆いずれにせよ夏期事業を迎えるに際して、会員諸兄姉の一段の発奮と努力を期待する。

世界連邦世界大会 日本で開催

38・8・24～30 於 東京・京都

「戦争なき一つの世界」をテーマとする第十一回世界連邦世界大会はあと二ヵ月余に迫り、大会の準備は、準備委員会の手で着々とすすめられている。

五月十日、十一日と世界大会に寄せる日本の意欲を示すために「世界連邦日本大会」が広島県呉市で開かれ（別掲）また五月二十三日に準備委員会、東京の他もう一つの会場である京都での会議等、活発な動きを示している。

ここにすでに決定した概要をかかげ本会々員からの多数参加を要望するとともに、同世界大会の盛会を心から祈念する。

第十一回世界連邦世界大会開催要綱

一、名称　第十一回世界連邦世界大会

二、主催　世界連邦世界協会
世界連邦日本協議会

三、目的　世界連邦実現のための諸問題を討議して、政策・運動方針を明らかにし、世界連邦思想の全世界への滲透高揚をはかり、本連邦の目的達成に資するとともにこの機会に国際親善の実をあげるべく、海外参加者百五十名に広くわが国を紹介し理解を深めることをもって目的とする。

四、期日　八月二十四日～三十日

五、会場　東京　東京文化会館
京都　京都会館

六、大会日程
❶第十一回世界連邦世界大会（東京会議）八月二十四日～二十六日
第一日　開会式・全体会議
第二日　分科会・青年学生部会・世界連邦青年の夕
第三日　分科会・全体会議
❷第十一回世界連邦世界協会総会（京都会議）八月二十九日～三十日
第一日　開会式・東京会議報告・議事・世界連邦おとり・一般公開講演
第二日　議事・親睦会

七、大会構成　世界連邦日本協議会（本会参加）に所属する者をもって構成する。
代議員　六〇〇名
副代議員　一、七〇〇名

八、参加申込　本会からの参加希望者については、左記参照の上申しこまれたい。
1、氏名　年齢月日　現住所　職業所属又は部を記入し本部宛申しこむこと。
2、参加費は、正代表一八〇〇円　副代表二〇〇円
3、旅費及び滞在費は自己負担

参考
一、世界連邦世界協会
事務所　オランダ
会長　湯川秀樹博士
副会長　四十三ヵ国（オーストラリア、ベルギー、カナダ、カメルーン、デンマーク、フランス、西ドイツ、ガーナ、ギリシャ、インド、イタリヤ、日本、韓国、レバノン、オランダ、ニュージーランド、ナイジェリア、ノルウエー、フイリッピン、スイス、シエラレオネ、南アメリカ、スエーデン、タスマニア、トルコ、イギリス、アメリカ、ウエトナム
準加盟国（エチオピア、セイロン、ブエルトリコ、インド、オーストリア
二、世界連邦日本協議会
事務所　千代田区永田町一「参議院別館」
責任者　会長　北村徳太郎
参加団体
❶世界連邦日本国会委員会
事務所　千代田区永田町一「参議院別館」
責任者　会長　笹森　順造
❷世界連邦都市全国協議会
事務所　千代田区平河町都道府県会館内岡山事務所
責任者　会長　湯川　スミ
❸世界連邦建設青年同盟
事務所　千代田区三崎町YMCA同盟会館内
責任者　会長　湯川　スミ
❹世界連邦全国婦人協議会
事務所　尼ヶ崎市塚口町一の二八　林方
責任者　会長　湯川　スミ
❺世界連邦日本青年協議会
事務所　千代田区永田町「参議院別館」
責任者　会長　川崎　秀二
委員長　白岡　恵一
参加団体　友愛青年同志会他十三、大会組織委員会
事務所　千代田区永田町「参議院別館」
責任者　北村徳太郎

人つくりと政治色介入

（一）

説

昭和三十八年度の青少年政策新設の項目中文部省関係で目立つものは三種類程度、厚生省が児童、身体障害者対策関係数ヶ所新設または増額しているのが注目をひく程度である。

（二）

〝人つくり〟の問題を青年という視角から眺めた場合、今日の青年層は内容的には前進しているものも少なく、今年度新設の項目中文部省関係で目立つものは三種類程度、厚生省が児童、身体障害者対策関係数ヶ所新設または増額しているのが注目をひく程度である。

（二）

〝人つくり〟の問題を青年という視角から眺めた場合、今日の青年層は内容的には前進しているものも少なく、今年度新設の項目中文部省関係で目立つものは三種類程度、厚生省が児童、身体障害者対策関係数ヶ所新設または増額しているのが注目をひく程度である。

論

全青成❷青少年団体活動の振興および指導者の養成❸勤労青少年の教育並びに福祉対策❹青少年の非行防止対策の強化❺青少年総合政策機関の強化五項目に集約され、総額で二八二億八千万円と前年比六二億五千万円が増額されている。

このうち総合政策機構の強化は〝強化〟というよりむしろ〝統合整備〟して〝青少年庁〟もしくは進んで〝青少年省〟を設置するべきで、その必要は青年団体関係者のみでなく社会的な声ともなっている。またこれら基本方針も実施の具体的事項となってくると、あらゆる面において世代の断り角にきている。敗戦による古い価値体系の崩壊と産業界における技術革新、生産人口の増大と爆発人口の激減は正に新しい人つくりを要請している。したがっていわゆる〝人つくり政策〟についても、識者の指摘や心に画く理想像は各人の立場によって千差万別である。

政治家は環境の整備を説き、国土変と道徳心高揚による精神的支柱の必要性を強調する。経済界は産業の進歩が要求する高度技能者の養成を目的として、個人の能力主義政策の実現をはかろうとしている。農村では農業改良と機械化に必要な頭脳と善手労働力の確保に頭を痛めている。

こういう意味で農家後継者養成学級、職場学級の新設は農村と都市の青年に対する後期中等教育として効果を期待したい。また勤労青年学級の新設も設備と運営の如何によっては住み込み店員や中小企業従事の向学心つよい青年にとって喜びとなるであろう。

（三）

ところがこの〝人つくり〟スローガンに刺戦されてか、最近政党の青少年対策が各党、各派にわかに活発化してきた。特に民青同（民主主義青年同盟―共産系）社青同（社会主義青年同盟―社会党系）創価学会青年・学生部の急激な膨張が側面的にこれを促進させている。自民党もおくればせながら自由主義青年同盟の組織を明らかにしている。そして前記三団体を含め、未組織青年に対する働きかけは概してエネルギッシュなものがある。今では派閥ですら独自の青年教育・政治学習を実施している。問題はこれら政党の青年層に対する組織化工作、系列化工作と政府の社会教育との交差である。各種青年学級が政治的青年団体の努力伸長の場となったり、卒業生の組織化競走という弊害を生まないよう警戒する必要があろう。この問題に対する青年一人一人の再認識と各党派の良識ある行動を切に期待する。

世界連邦日本大会 盛会裡に終る 世界大会への協力を決議

第二回世界連邦日本大会は、五月十日、十一日の二日間、広島県の呉市で開催された。

この大会は世界連邦を宣言した地方自治体で、広く一般の理解と支持を得る目的をもって、都市協の年次大会とあわせて開催されるものである。

参加者は日本協議会加盟の五団体の代表者の他関係者、地元呉市民多数が出席した。

第一日の十日は、呉市女子会館で「世界連邦の歌」呉市奨励会人氏、日本協議会々長北村徳太郎氏の挨拶、昭和三十七年度の会務報告、世界大会の準備報告が行われた。

そのあと「世界大会への期待」と題して世界協会々長の湯川秀樹博士の基調講演があり、深い感銘を与えた。議事に入って、先ず議長団に松本堅一氏（参議院議員）、奥田吉郎本会幹事長の選出され、第一議案第十一回世界連邦世界大会に関する件、第二議案第三回世界連邦日本大会の開催地に関する件が上程され、世界大会については別掲のように、また日本大会については東京都と決定した。

午後は四つの分科会に別れ、（一）一般部会、（二）都市部会、（三）青年部会（四）婦人部会とそれぞれの立場において審議した。青年部会では、市民ホール会議室において、世界大会への協力、青少年キャンプへの参加、日比親善交換、地方組織拡大、核停協定の促進の諸議案を採択した。

夜は、朝日新聞論説委員小幡謙氏による「冷戦を克服するもの」との記念講演があった。

第三日の十一日は、総会が開かれ分科会の報告、宣言文が採択され午後一時終了した。

なおポラリス潜水艦の入港反対の婦人部会からの提案は、問題が複雑なので大会としては決定をせず、該停協定促進についての青年部会の提案は満場一致採択をされた。

さらに六月四日全国初の県連幹事会を開催、県連の運動方針、事業計画を検討したが、特に県連内部の組織の強化、支部行事の促進化を重点的にとりあげることにした。

長崎県連
幹事会をひらく

【長崎発】長崎県連では五月二十九日、多数会員の参加を得て感謝状記念品の贈呈および功労賞の授与式を行なうとともに全国大会の報告会を行なった。

「友愛海の家」を開設

本会の「友愛海の家」が鎌倉に開設された。

かねて本会では全国各地に家山荘を建設し、青少年の野外活動の場を提供することに努力してきたが、今年は創立十周年を記念して夏の期間、鎌倉材木座海岸に海の憩いの家を開設することになったもの。

これは本会横浜支部（支部長大久保照夫君）の努力によるもので国際的にも有名な鎌倉海岸でも一等地にあり、家の屋上には源氏に向って常時「友愛旗」がはためき白砂の砂浜に「友愛のマーク」が濃い影をうつしている。

場所は鎌倉駅下車、材木座行きバスに乗車して材木座海岸で下車すればすぐわかる。屋号は「ハブタ」または「友愛海の家」ときかれればよい。利用料は一般一五〇円で会員、会員関係者は一〇〇円である。世話役は横浜支部長大久保照夫君が毎日出勤している。

大久保照夫君談＝友愛海の家を開設して会員の皆さんと会えるのが楽しみだ。今年中には神奈川県連も結成したいので、智恵をさずけて下さった方には特別サービスしますよ。大いに活用して下さい。

訂正とお詫び

先月号二面に掲載した大和銀行の広告は原稿が誤っておりましたので、お詫びすると共に改めて掲載させていただきます。

707 707 5 830
信託併営
●信託預金は　元本保証のうえに半年複利で●１０１　１４１万円が５年後には　万円強になる好成績……
どっさり実ってかえります
大和銀行

高孝袋物株式会社
東京都中央区日本橋一丁目二
電話（68）九〇七六番

旭硝子株式会社
社長　森本貫一

三菱セメント株式会社
取締役社長　山中正夫
本社　東京都千代田区丸の内二の一の四

後楽園スチームバス
サルタン
スチームバス・サルタン
本格的なスチームバス、専門家によるマッサージ、日本で初めての各種温浴装置が１コースになっています。メンズ・レディス・サウナの３つのコースがあります。豪華な休憩室ロビーも完備し、心ゆくまでくつろげます。
後楽園飯店（純中国料理）
中国から来た一流のコックが調理する中国風のバイキングレストランです。

ご贈答に
大丸の商品券
三〇〇円―一万円の七種類
大阪・東京・京都
神戸・高知・高取
下関・別府・博多
の大丸に共通…
大丸
大阪・心斎橋
電（27）1231

インド帰国の報告会

茨木支部で寺川君招き

【茨木発】日印友好代表としてインド視察から帰国した寺川良夫君（会館事務局）の帰国報告会は去る六月八日午後四時から茨木青少年センターで開かれた。

会場は大阪府連結成大会に使われたところで、この日、教育関係者、青年団、婦人会、会員多数が参加し、約二時間にわたり熱心に報告をきいた。茨木市には農家もかなり多く、身近かな問題なので寺川君の報告は理解にも容易に理解され、意義深い行事であった。

日独青少年交歓

期間　三十八年春頃
派遣団　ドイツ他
人数　約二十名
経費　約六十五万円
資格　会員及び会関係者
内容　独スポーツ青年との交歓

日仏青少年交歓

期間　三十八年六月十九日～七月二十一日
派遣国　フランス他
人数　二十二名
経費　約六十五万円
資格　会員及び会関係者
内容　仏青少年との交歓

友愛欧州 国際使節団

期間　三十八年十月中旬から一ヵ月間
派遣国　デンマーク、フランス、イギリス、オーストリア、ドイツ、スイス、イタリア、インド、パキスタン、タイ、シンガポール、フィリッピン、香港
人数　男女七名
経費　旅費四十六万二千五百円、滞在費十八万円、計六十六万二千五百円
資格　本会々員
内容　オーストリア友愛青年同志会と交歓、カレルギー名誉会長と面会

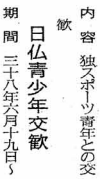
友愛東南アジア 国際使節団

期間　三十九年二月から一ヵ月間
派遣国　沖縄、香港、シンガポール、マラヤ、ビルマ、タイ、ヴェトナム、フィリッピン
人数　男女二十名
経費　旅費四十九万二千円、滞在費十四万四千円、その他二万円、計三十二万二千円
資格　本会々員
内容　各国主要都市を歴訪視察し、各国青年団体と交歓

友愛経済視察団

期間　三十九年一月から一ヵ月間
派遣国　中南米、北米
人数　男子十名
経費　未定
資格　本会々員
内容　各国主要都市を歴訪視察し、各国青年団体と交歓

団員募集



日印農業青年交換 行ってみたまま

矛盾だらけの社会生活

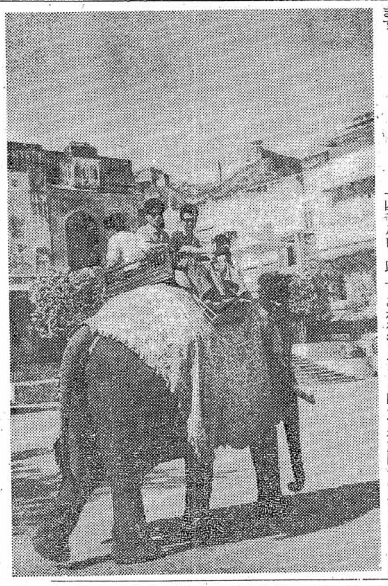
箕面支部 寺川良夫

去る三月十二日羽田空港を飛び立った寺川君は、二十六日間にわたって東南アジア五ヵ国、インド、パキスタン、タイ、フィリッピン、ホンコンを歴訪して四月六日に帰国した。その後編集局に、詳細にわたって報告書が寄せられたのでここに掲載し、会員諸兄姉の一読の労に供する。この報告書は紙面の都合で一部割愛されていることをあらかじめ御承知願いたい。【編集局】

農産物の実態をみる

私は今回日印青年交換計画にもとづく第三回訪日本青年代表として、去る昭和三十八年三月十二日羽田国際空港を離れ約一ヵ月インドを中心に東南アジア各地の視察文献をして帰国しました。

インド全域を視察して考えさせられた事は、現在インドがどのようにして農業生産の増進に力を入れているかという事でありました。各州に技術指導所や農家の婦人の生活向上を図る為に、婦人生活指導所を設置これらは政府の農業予察で指導され、入所員は一ヵ月五十ルピーを貰って指導を受ける事が出来る。入所年令は十八歳から二十五歳迄、一回生に六十人程で指導所の課程は二年間、その内一年九ヵ月が農業専門知識の学習、残り三ヵ月が実習となり、入所期は十二月、こうした指導所は州に平均八ヵ所程あり技術指導に努めています。インドの技術者は就職して、机の上での単なる指導員で農民に出て農民に手を取って教えていません。指導者と農民とがともに田畑で手を取り合って指導するような人が出ない限りインドの農業は前進しないと思います。現在のインドは一部より農業政策が立体となっているのにといって政策らしいものは見られません。インドの工業を延ばすには先ず第一に農業生産の向上をしなければなりません。インドの特産物である綿、砂糖キビ、煙草等の生産向上をはかり、これらの産物から加工する製品が多くなってもインド国全体の所得において、最低生活者は一日一人日本円にして二円位の生活しか出来ません。こうした階級の中の生活が悪いからといって他に働くだけの商工業も発達しているわけでもなく、インドの現状です。



インドにおいては今だに大家族制度が見られる。大家族では約三十人位が一家の中で生活しその中の生活費は一ヵ月約二千ルピー位、もちろん食物は自宅で耕作しています。したがって一人一ヵ月の生活費は六十円。農民に比較し労働者、役人、工場その労働者の賃金は一ヵ月男子八千ルピー、女子四千ルピー位が国の平均した初任給。課長、部長クラスは千五百ルピー、トップクラスは二千から四千ルピー以上。これをもってしてもインド国民の平均所得は三百ルピー位で独立当初に比較すると大変良くなって来ていますが、これをもう一段と引き上げる為に、第三次五ヵ年計画で政府も農業生産に力を入れて生活の向上をはかっています。

インドの人口は約四億五千万人といわれています。また国民の中で家を持たない人が多くいて、その人達はどのような生活をしているかと聞いてみると大自主の家で働きそこで一戸の家を借りて住んでいるといっていました。その家というのは日本の山間部に見られる炭焼き小屋といった所で、坪数は僅か二坪あれば良い方でした。そのような家の中に六～七人が生活していました。

農家の家庭においてほとんど草等の生産向上をはかり、これらの特産物である綿、砂糖キビ、煙電灯はありません。電灯は全体の三十%、ラジオも十%位です。インドの方が盛り沢山、途中から付近にいた女性のグループも仲間入りして四時まで歓談の中にゲームを楽しんだ。四時、支部長から友愛講座、会のことを知っている人も知らない人も友愛のふれ合いにひとつとけこんで有意義な一日をすごした。

【写真上は油壺で記念撮影の関東学生部と文京支部。下は京都植物園でフォークダンスを楽しむ箕面支部会員】

東西で初夏を歩く

ハイキングの花ざかり

浮く自然に初夏の太陽が輝き、樹々の緑がひときわ美しい。この好季節に全国各地で戸外でのリクリエーションが行なわれた。北海道で、東京で、岐阜、大阪で若者の友愛の歌がこだました。

関東学生部 文京支部 三浦半島へ

ここから船二バス組に分かれて正午油壺につき午後一時まで昼食とゲーム、ボート遊びを楽しんだ。

一行五八名は友愛の小旗を交差させた八坂観光のブラックバスに乗車、湧き起こる若者歌声をのせて出発した。湘水文京支部長の司会と臨時ガイドで傍聴のうち横浜港で小憩、十時三浦半島の灯台に到着、奇岩絶古の海辺で"旅の新生活"をP・R——。

瀬戸の森林公園に

【岐阜発】岐阜支部（支部長＝鈴木昌和君）のピクニックは六月二日午前九時二十三分岐阜駅を発名古屋から八バスで五十分、瀬戸市の森林公園を訪問した。非会員も交えて三十三名が参加、自動車の整備員、写真屋、服問屋さんの店員、紡績会社のBGさんなど色とりどり。十一時から公園に四阿を台に到着、奇岩絶古の海辺で"旅

千光寺でたのしく

【高山発】高山支部（支部長＝由中商治君）のハイキングは五月十九日快晴にめぐまれ二十八名の参加者を得て行なわれた。友愛旗を先頭に一行は初夏の日をあびて千光寺に向い、コーラスやフォークダンスを楽しんだ。

"古都めぐり"実施

【箕面発】去る六月九日、市教育委員会後援のもとに京都市内の古都巡りを実施した。

参加者四十五名は、貸し切りバスの中から大声で歌を唱い、語り合いながら目的地へ向かい、銀閣寺を振り出しに京都植物園、念仏寺、苔寺等を見学した。植物園では、昼食後参加者全員でフォークダンスに打ち興じるなど楽しい一日を過ごした。

【筆者は大阪・箕面支部副支部長同市社会教育課勤務】

友愛傘を設置する

長尾支部の奉仕活動

【長尾発】香川県長尾支部では毎月一行事を目標に、例会（三月）亀鶴公園早朝清掃（四月）引田青年団と交歓（跳箱）料理講習会（五月）を行ない、五月はこのほかに友愛大会報告会を二日に開催した。ところがこの間、三月二十四日の例会で無料貸出し"友愛傘"設置の提案が可決され、その準備を進めてきたがこのほどこれが出来上ってきたので、早速町内の主要地に設置することになった。この傘は友愛香川県支部のネームが入り、会員が各自常備したものである。

富士火災海上
本社 大阪・東京支店

新 日新火災海上
本社 東京・大手町

同和火災海上
社長 岡崎 真一

千代田火災海上保険株式会社
社長 手嶋 恒二郎
本店 東京都中央区京橋一丁三 新八重洲ビル

興亜火災海上

大東京火災
東京・日本橋

東京海上火災
本店 東京都千代田区 丸ノ内一の六
TEL (28) 2251・6621

企業には 利益保険
ご家庭には 住宅総合保険
安田火災海上

鹿児島支部を結成

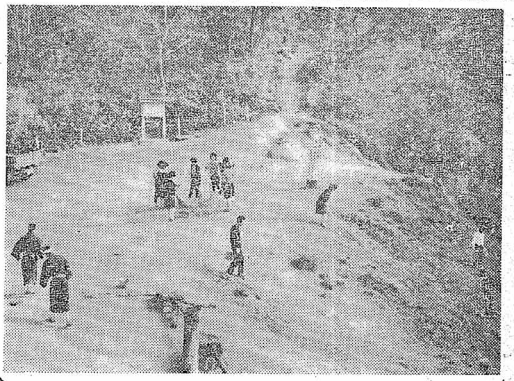
最南の地に伸びた友愛

本部では、三月中旬より約一ヵ月間、尾形智雄常任幹事（地方対策部長）を南九州地方組織普及に派遣したが、その最初の成果として鹿児島支部の結成がおこなわれた。鹿児島支部は、岩崎充、久保利事務局長の経過報告を承認し議事に入った。

三越鹿児島ホテルで結成大会を開いた。当日は本部より、尾形常任幹事が出席した。

大会は、岩崎大会準備委員長の開会の辞にはじまり、本部を代表して尾形常任幹事、地元来賓代表として石井鹿児島市議会議長の挨拶があり、つづいて久保大会準備委員長の経過報告を承認し議事に入った。

支部規約、運動方針、役員等を熱心に審議し午後八時半閉会した。



友愛運動に全てをかける

北海道　吉川昭市君

友愛の北海道運動はすさまじい発展をとげている。道の青年団をぬいて道一の青年団体となるも時間の問題であろう。

道連の歴史は、とりもなおさず吉川昭市君の歴史でもある。北海道に友愛の船がまかれたのは、東京と時を同じくして、昭和二十八年のことであった。感冒に罹同した吉川君は早速病床に友部をつくった。

彼は余市リンゴの販売を業としていたので、入会を機会に思い切って、トラックを買い入れ、その暇と自由、平等、友愛、反対側に友愛青年同志会と書き、吉川君の不幸と苦難はここから始まった。しかし彼は友愛を捨てなかった。むしろ困難にあえばあうほど友愛の普及にすべてをなげうっていった。

この間の労苦は筆舌に尽くしがたいものがある。彼自身ではいき鍋釜布団をつんだ車にのせられ北海道をかけあるいたものである。

三十六年彼は、国際委の派遣で東南アジアを廻ってきた。会員の海外派遣に熱心なものもこのせいである友愛を感じた吉川君達を指さして、私はあの熱は、すさまじく京るとこるにの演説があった劇的な場面である。

北海道は、果てしなく広く東北六県を併わせたよりも大きい。ここでの組織普及は、なまじっかのことでは果たせない。本部からの組織普及も、函館で三日本部に次がついたようである。声が大きくコワイものがないからであろう。

三十四年初めて運動が結成され、初代の会長になったが、道連の将来を考えて昨年会長を自井啓介君に譲りハマリ役の幹事長におさまった。なかなかできない芸当である。

また対外的には、道の青少年団体をまとめて青少連をつくり各種団体と呼応して核禁運動に積極的に結成して事務局次長に納まった。道内では顔が広く、しかもキクようになった。

人情に厚いたちで、吉川夫妻の世話になったは数えきれないだろう。彼にとっては、これからの身の処しかで一番大切となるだろう。日大卒三十五歳。

現在北海道支部連合会幹事長

地方常幹ハイライト

掃清朝早の別登

【登別発】北海道登別支部（支部長＝三浦吉治君）は四月以来公共地清掃を実施し、早朝六時半からの熱心な奉仕活動は町内の関心を集めてきた。

五月十九日には登別温泉で第十回全国大会報告会が行われ、支部長の全体報告、各代表からの科会、シンポジュウム、文化祭の報告があり活発な質疑応答があって午後六時半から十時半まで開かれた。報告会には婦人会員も出席参加を頂いた。

後藤カツさん談（賛助会員）

友愛青年同志会のことはかねて聞いていましたが今日の会合でよく様子がわかりました。皆さんの熱心な態度に感心させられました。婦人会にも話しかけ積極的に協力するようにしたいと思っています。写真は地獄谷清掃中の登別支部会員

北見でも支部結成

初の事業に講演会開く

【北見発】かねて支部結成の準備を進めていた北見市の準備委員会では、去る三月二十日午後六時半から結成大会をおこない正式に支部として発足した。

当日は、特に林務局前県青協事務局長も出席した。

〈支部役員〉

支部長　岩崎　充
事務局長　久保利徳
会計　〃
会計監査　笹平克己
事務所　鹿児島市平之町一一九　岩崎充方

岐阜支部総会開く

支部長に鈴木君を選出

【岐阜発】去る五月十五日午後六時より、市内三番町レストホールにおいて、本部より奥田副幹事長を迎えて、岐阜支部の総会を行った。一身上の都合により辞職をした渡辺前支部長の後任及び新役員を選出、運動方針を決定したさらに五月二十四日市内葵町三丁目大洞内、支部事務所において、パンフレットをもとに「友愛」について研究、つづいて当面の事業計画を決定した。

〈支部役員〉

支部長　鈴木昌和　▽副支部長　渡辺義治　永田貴稔　▽幹事　長屋隆文、後藤宏子　▽事務局長　山口功（会計兼任）

当面の運動方針

一、会員の獲得
二、友愛精神の研究会
三、会員相互の親睦会

新支部長に中村君

運動方針等も決定する

【桑名発】去る三月三十一日午後七時半より桑名市職員会館において桑名支部の総会が開かれ、昭和三十八年度の事業計画等が審議決定された。

大会は開会の辞に続いて直ちに議長を選出し議案の審議にうつりその結果次の通りの運動方針、事業計画と役員が決定した。

〈運動方針〉

一、組織の充実と会員の拡増
二、社会福祉活動の展開と協力
三、国際交流活動への積極的な参加と協力
四、キャンプ大会の開催
五、本部及び県連事業に対する参加と協力

〈支部役員〉

◇相談役＝五十嵐勇、山川昇
◇支部長＝中村万寿夫、◇副支部長＝伊藤幹夫、山下重弥、◇事務局長＝伊藤晃、◇事務局補佐＝柴山喜雄、◇会計＝鵜沢寿一、◇会計監査＝水谷安吉、平野義信
◇幹事長＝水谷武、◇幹事＝名雲務局〉

三重県桑名市本町一　伊藤晃方
電話　二五五五番

宇和島支部で総会

三月二十一日午後八時より友愛青年同志会宇和島支部（支部長＝井上延昭君）の総会が開かれた。会場には会員約一〇〇名が集り来賓と北海道北見市大通東一丁目
北見毎日新聞社内
電話　北見　五一五一

結成後初めての事業として、北見商工会議所と共催で四月四日、日本生産性本部の林太郎講師を招き「経営と民法」と題する講演会を開き、早くも市民から関心を集められている。

旭川・大阪両支部

パンフレットを作成

先に大阪支部では、支部で独自のリーフレット、案内書を印刷し友愛の普及と組織活動に極めて意欲的な活躍を示したが、この程、旭川支部では独自のリーフレットを作成した。

このリーフレットは「友愛のしおり」と名づけられ、本部のものを参考に、北海道での友愛活動の歩み、事業経過、旭川支部役員名簿、事務局所在地、連絡場所等、例会の案内などそっけ加えたものである。このしおりを活用して市内隈なくばかりでなく道北地方一帯に働きかけるとと部では張りきっている。

大阪支部でも更に各種の封筒を用意し市内各区に支部結成を目標に大きく飛躍しようとしている。

開催要項がきまる

尾道支部主催高校弁論大会

【尾道発】尾道支部主催の「第五回近県高等学校弁論大会」はの要項でおこなわれる。

審査委員　五名

新役員が決まる

尾道支部では三十八年度の新役員を次のように決めたが、会員歴五～六年以上というベテラン会員の役員復帰が目立っているので、今後の活動が目される。

支部長＝高橋最宣　副＝田宮浩
事務局長＝下森吉勝　副＝中殿久登　組織部長＝森数康晴　社会部長＝橋高公夫、副＝下山登文　化賞・副会長賞　個人の部　一位～三位まで

日本大国記

5/11　第十九回ユネスコ運動全国大会（十三日迄）於大阪
12　関東学生部例会（後一時於会長邸離れ）
14　友愛婦人会総会（於潮来富士屋ホテル）
16　核禁会議幹部会議（後三時半・於核禁本部）
17　成毛君打符会（正午・於富羽すし）
18　第一回常任幹事会（後六時半・於さくら）
成毛君ベルギーへ出発（後九時半・日航）
19　箕面支部第二回総会（後一時・於箕面小学校）
20　大阪府連役員会（後七時於新大阪ホテル）
21　前橋支部結成準備会
名古屋支部結成懇談会
22　和歌の集い（前十時・於会長邸離れ）
23　世界連邦準備会（後一時於事務局）
在京組織委員会（前三時半於本部事務局）
核禁団体代表者会議及び幹部会議（正午・於九段会館）
24　国際青年会議（後五時半・於日町事会（後五時半・於日町）
関東学生政治討論会（後一時・於尾崎記念会館）
25　昭和三十八年度補助金に関する説明会（後一時・於都庁）
27　外務図書出版記念祝賀会（於古寺巡り）
29

5/1　第一回全国大会（正午・於東京会館）
関東学生部役員会議（後四時・於事務所）
2　都連お茶の会（前十時・於青館）
3　核禁会議・中央加盟団体代表及び幹部会・合同会議（後一時・於九段会館）
4　第一回執行部会議（後六時・於本部）
第九十七回中青連委員会（後三時・於日青館）
5　和歌の集い（前十時・於会長邸離れ）
6　世界青少年キャンプ推進会（後一時・於総理府）
7　早朝読書会（前六時半・於谷中墓地）
友愛婦人会定例役員会（後一時半・於会長邸離れ）
8　文部省少年団体懇談会（前十時・於文部省）
核禁会議代表と原水協代表との会議（後一時・於日青館）
9　文京支部・関東学生部バスハイク（三浦半島）
箕面支部バスハイク（京都古寺巡り）

30　核禁代表・原水協代表と大同団結について話し合い（後一時・於日青館）
31　選挙法改正運動協議会（正午・於日青館）
6/1　沖縄問題を話し合う会（後一時・於丸ノ内日本クラブ）

豊かなくらしのガイド・ブック

社風　うちの会社よその会社
東洋経済編　新書判　二三〇円　〒40
日本の代表会社40社の苦難の道から生れた社風物語。会社経営の模範に、投資の手引きに最適

IMF体制とEEC
大原　進著　新書判　二八〇円　〒40
1かね2ワイフ3出世
大和勇三著　B6判　二九〇円　〒50
マネービル専科
大和勇三著　新書判　二三〇円　〒40
東洋経済新報社
東京日本橋本石町1～4・振替東京6518

富士電機製造株式會社
取締役社長　金成増彦
東京都千代田区丸の内二の六
電話東京(211)大代表七一一一番
受電略号マルノウチデンキフジ